

日本経済論		講義	教授 大澤 秀一
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの専門 選択科目	科目ナンバリング	11320209

1. 授業のねらい・概要

日本経済論では、経済の仕組みや経済大国日本の姿を見た後で、企業・政府・家計の位置づけと役割、日本的経営の特徴、労働市場の動向、年金制度の仕組み、銀行の機能、国際貿易の重要性などを取り上げます。これらの項目を通じて、日本経済の全体像を理解し、実社会での経済活動への理解を深めることを目指します。

2. 授業の進め方

授業は講義形態で行い、理解度を確認する小テストを3回繰り返しながら概ね以下の内容に沿って進めます。

3. 授業計画

1. 授業の概要説明	9. 第2回小テスト
2. 経済の仕組み	10. 日本の労働市場
3. 日本経済の形	11. 日本の社会保障
4. 日本経済の成長	12. 日本の金融システム
5. 第1回小テスト	13. 日本の貿易：投資構造
6. 経済主体としての企業	14. 第3回小テスト
7. 政府の機能と役割	15. 総まとめ
8. 日本的経営と経済政策の現状と課題	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前配布されるデジタル資料を予習し、あらましを把握してから授業に臨んでください。授業内容の定着と論点整理のための復習も重要です。予習・復習に2時間以上かけて疑問点や不明点が無くなるまで学修してください。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

各小テストの次の授業で出題の意図と解答のポイントを説明します。

6. 授業における学修の到達目標

日本経済の基礎的条件を理解し、経済の動向や出来事について自分なりの意見を持ち説明できることを目指します。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組姿勢(50%)と小テストの結果(50%)によって評価します。

8. テキスト・参考文献

テキストは使用しません。必要に応じて参考文献などを適宜紹介します。

9. 受講上の留意事項

初回の授業で説明します。授業への主体的な参加を期待します。疑問や不明な点については、遠慮せずに授業などで質問しましょう。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。この授業は金融機関やシンクタンクにおける実務経験を活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。